

施策の評価		
施策の柱	柱⑧	生涯学習の推進等による教育的風土づくり

1. 施策の主要目標の達成度

施策の主要目標	目標達成度	判断理由																							
① 県民すべてが教育について関心を持ち、教育について考えるとともに、生涯にわたって学び続ける環境づくりを推進する。	B	<p>◆教育の日推進事業（事業 45）の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「志・とさ学びの日」における教育データの公表（11/1） ◇専用サイト開設による市町村関連事業の掲載及び県民への情報発信（県広報誌、新聞広告、チラシを利用した広報） ◇「とさ学びの週間」中におけるフォーラム開催（11/6）会場参加者 300 人以上 ◇推進県民協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回（9 月）取り組み内容についての意見交換 ・第 2 回（2 月）今年度の取り組み報告、来年度への意見 <p>◆社会人自己啓発モデル事業（事業 46）の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇講座参加延べ人数は目標（500 名）を下回ったものの、参加者の満足度は非常に高く、目標（80%）を達成できた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>高校名</th> <th>形態</th> <th>参加数</th> <th>満足度</th> <th>講座名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中芸</td> <td>通年授業</td> <td>20 名</td> <td rowspan="2">96.6%</td> <td>簿記、プレゼン、コミュニケーション他</td> </tr> <tr> <td>公開講座</td> <td>92 名</td> <td>簿記、HP、キャリアデザイン他</td> </tr> <tr> <td>大方</td> <td>公開講座</td> <td>235 名</td> <td>100%</td> <td>簿記、HP、砂浜美術館他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>344 名</td> <td>97.2%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆新図書館等整備事業（事業 47）の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ほぼ予定通りに進捗・完了し、当初の目的を達成した。 <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館等複合施設整備基本計画の決定（H23. 7. 12） ・新図書館等複合施設等基本設計の完了（H24. 3. 28） ・こども科学館展示基本設計の完了（H24. 3. 29） ・建設工事に伴う地質調査の完了（H24. 3. 21） <p>◆県立図書館活動（事業 48）の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇市町村立図書館等への貸出冊数は、目標値をほぼ達成し、市町村支援の充実につながった。 ◇企画展示の助言や外部機関との連携など、図書館機能の強化を通じて、県内読書環境の充実が図られた。 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館から住民への貸出冊数（住民 1 人平均 2.8 冊→2.9 冊）＜目標値：3.0 冊＞ ・公民館図書室への貸出（38,767 冊→51,900 冊）＜目標値：42,000 冊＞ ・新たに連携を図ることとした図書館以外の団体（18 団体） 	高校名	形態	参加数	満足度	講座名	中芸	通年授業	20 名	96.6%	簿記、プレゼン、コミュニケーション他	公開講座	92 名	簿記、HP、キャリアデザイン他	大方	公開講座	235 名	100%	簿記、HP、砂浜美術館他	計		344 名	97.2%	
		高校名	形態	参加数	満足度	講座名																			
中芸	通年授業	20 名	96.6%	簿記、プレゼン、コミュニケーション他																					
	公開講座	92 名		簿記、HP、キャリアデザイン他																					
大方	公開講座	235 名	100%	簿記、HP、砂浜美術館他																					
計		344 名	97.2%																						

2. 施策を構成する個別事業・取組の評価結果

個別事業・取組	目標達成度	検討項目	総合評価
44 教育の日推進事業	B		事業初年度であったが、県民の教育に対する意識の高揚及び学習活動への参加の機運の醸成を行っていきうで、最初の土台を築くことができ、来年度以降の取組につなぐことができた。
45 社会人自己啓発モデル事業	C	エ	生涯学習推進の観点から、社会人のニーズに応じた自己のキャリアアップやスキルアップなど、社会人自らが自己啓発を図ることができる学びの場を提供することができた。 広報等が不十分なところもあり、参加者が定員を下回る講座もあったが、参加者の満足度は高く、社会人のニーズに応じた講座を開講することができた。
46 新図書館等整備事業	B		ほぼ予定通りに進捗・完了し、当初の目的を達成することができた。
47 県立図書館活動費	C	エ	県立図書館のサービス向上（蔵書充実・課題解決のためのサービスへの取組やレファレンスへの対応力アップ）と、市町村立図書館等への支援充実（中央ブロック担当職員配置や体系的な研修の実施）など、新図書館の担うサービスの本格実施への実現に向けて取り組んだ。

3. 施策の総合評価と今後の方向

	目標達成度	
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆11 月 1 日「志・とさ学びの日」を通じ、県民の教育に対する意識の高揚及び学習活動への参加機運の醸成に向けてのきっかけづくりにつながった。 ◆地域において産業振興や事業形成を担う社会人向けの自己啓発のための各種講座を開催することができた。 ◆平成 27 年度の新図書館等複合施設の開館に向けて、当初の計画どおりに基本計画及び基本設計が完了した。また、新図書館に向けた図書資料の計画的購入や物流回数増加、職員研修の充実などの取組を通じて、図書館機能の強化が図られた。
今後の方向		<ul style="list-style-type: none"> ◆「志・とさ学びの日」において、県と市町村の教育データを公表するとともに、学校における一斉参観日など、より多くの県民に興味をもってもらうための取組も展開していく。 ◆引き続き県内で産業振興や事業形成を担う人材育成を進めるため、地域のニーズに応じた学びの場づくりを行う。さらには、公開講座等の広報活動の充実を図り、継続的な取組につなげていく。 ◆新図書館等の整備に関しては、来年度は、実施設計及び新図書館情報システム等の基本設計を行う。また、ソフト面では、県立図書館が特に機能を発揮しなければならない以下の項目について継続的な取組を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のための支援サービスの充実・強化 ・市町村立図書館等への支援の充実 ・人材育成 ・計画的な蔵書充実と未整理資料の整理